

農業委員会だより



お食事処「四季味」代表 鈴木春江さんの「花寿司作り教室」

主な内容

● 農業委員会活動報告

- 視察研修報告……………3
- 耕作放棄地復元モデル事業……………4

● 農業委員会からのお知らせ

- 新たな農業委員会制度……………5
- 農地の賃借料情報……………6

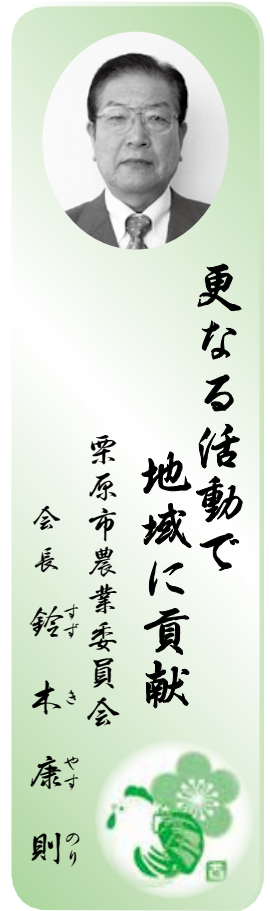
● 地域農業情報

- 農業したいまち栗原……………8
- 農家レストランみ～つけた！……………8



**体験プログラムで
地域の魅力を発信！**

くりはらしが主催した「くりはら
ワークが開催した「くりはら
博覧会」らいんぐが、市内各
地を会場に10月15日から11月
29日まで行なわれました。
28の体験プログラムを実施
するイベントの講師は、全員
栗原市内の会員。それぞれの
特技や職業を生かした内容で、
参加した人達は、その技を覚
えようと真剣でした。



更なる活動で

地域に貢献

栗原市農業委員会

会長 鈴木康則

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
農業委員会の業務推進並びに農業振興に格別なるご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年の稲作の状況を振り返れば、前半は穏やかに推移し、後半には台風等の多発と上陸回数が増え倒伏や品質低下が懸念されましたが、作況指数「やや良」の結果に安堵の思いでした。

さて、TTP協定は11月4日に衆議院本会議において賛成多数で可決され、参議院に送付される中、アメリカの次期大統領が、就任後にはTTPから脱退すると表明しました。何故、アメリカが脱退するのに日本はTTPの発効を急ぐのか、農家の不安、疑念を払拭するに至っておらず、拙速な協定は望んでいない状況にあります。

また、農業委員会の制度改革が昨年より施行され、栗原市農業委員会も本年7月23日の任期をもちまして、新制度に移行されます。その内容は、農業委員を半減し、農地利用最適化推進員が創設されます。担い手への農地集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入の促進など、更なる活動が義務付けられます。

今後、栗原市農業委員と農地利用最適化推進委員が一体となって、遊休農地の解消など、農地利用の最適化に向けて、地域住民に貢献する活動に取り組んで参りたいと思っております。

新年を迎え、市民・農家各位のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

受賞おめでとうございます!

◆宮城県文化の日表彰（産業功労）

多年にわたり農業委員会委員として農地等の利用促進に努め、地域農業の振興に寄与したことが高く評価され受賞となりました。



鈴木 康則 会長
(若 柳)



大澤 洋介 部会長
(清水)

◆宮城県農業委員会大会表彰

(氏名のみ紹介)

○宮城県知事感謝状

(永年勤続農業委員20年)

鈴木康則 委員 (若 柳)
大澤洋介 委員 (清水)

○宮城県農業会議会長表彰

(永年勤続農業委員15年)

狩野和義 委員 (一 迫)
黒澤光啓 委員 (一 迫)



◀表彰された狩野委員、黒澤委員

視察研修報告

11/30
(水)

第一農地部会
 (有)イーストファームみやぎ(美里町)
 (有)アグリードなるせ(東松島町)

「有限会社イーストファームみやぎ」は変貌する米情勢に対する消費者ニーズや安定して提供できるおいしい米づくりをモットーに、従来の生産中心の経営から、生産や加工、販売、営業形態の農業生産法人を平成6年3月にスタートさせ、都市と農村の結びつきを深め社員一同頑張っている現代に合ったすばらしい法人でした。

「有限会社アグリードなるせ」がある野蒜地区は、農業の最先端を走る人の多い地区で生産法人立上げには苦労したとのこと。平成18年農業生産組合から農業法人を設立し、現代にマッチした生産から加工販売、営業、多面的機能自治会を発足した。

農業法人が中心に農業、観光、福祉、医療法人が参加し、新たな住みよい農村を目指している新しい形の法人でした。

(佐藤秀男
委員)



12/5
(月)

第二農地部会
 (農)村木沢あじさい
 営農組合(山形県山形市)

農事組合法人「村木沢あじさい営農組合」は、近郊農業地域での農家の高齢化や減反政策等によって、転作での効率的な収益確保が求められ、組織の設立がなされました。丁寧な話し合いを通して、営農組合と農地の出し手を含めた担い手が支えあい、地域ぐるみで農を通じた豊かな地域づくりを目指していました。

また、大豆やそば、小麦等の生産だけで終わらせず、加工や直売の「農業の6次産業化」により付加価値を創り出し、補助金等に依存しない自立した経営基盤を目指しておりました。

今後、地域の受け皿組織として、地域の人達が安定して農地を任せられる組織を目指して、更なる6次産業化の展開や安定した経営基盤を作って行きたいと力強く話しておりました。

(多田仁一委員)



11/2
(水)

第二農地部会
 第139回秋田県種苗
 交換会(秋田県湯沢市)

農家が丹精込めたさまざまな農産物が体育館いっぱい整然と並べられ、秋田の農業人の意気込みを感じ、さらには各農業機械メーカー自慢の展示場は、運転操作の実演などがあつた。中でも目を引いたのは、これから農業の現場でも活躍するであろう「ドローン」の展示・説明会場は大混雑し早速、見積り相談をしている方も見受けられました。その他たくさん物産販売等々、予想を超える大規模なイベントでした。

若い農業者が、これらの機械を駆使して日本の農業・農村をさらに元気にしてくれることに期待感を抱きつつ、139回目を迎えた秋田県種苗交換会は、秋田県だけに留まらず、日本農業の発展のために大いに意義のあるイベントであると感じた研修でした。

(岩瀬弘委員)



農業者年金に加入しましょう！

農業者年金は農業者の方なら広く加入できる年金です。

詳しくは、農業委員会事務局へお問い合わせください。

電話 42-1239

耕作放棄地復元モデル事業を実施

耕作放棄地の復元作業をモデル的に実施することにより、耕作放棄地解消のきっかけとなればと始まった農業委員による「耕作放棄地復元モデル事業」は、今年で4回目となりました。

10月下旬から12月にかけて、農業委員が市内3ヶ所に分かれ、トラクターや草刈機を持ち寄り、約42アールの耕作放棄地を復元しました。

耕作出来るように復元した農地は、地域の担い手へ利用権設定を行い春から作付けをする予定です。



▲農地が荒廃・遊休化すると、近隣の農地に迷惑や害虫の発生、鳥獣被害拡大、景観悪化の原因になります。



▲畦畔も草刈し、トラクターで整地する農業委員



▲肩の高さまで伸びた雑草を刈る農業委員



11/17(木)
~18(金)

女性委員会

東北・北海道ブロック女性農業委員研修会
(山形県山形市)
(尚)地域環境デザイン研究所視察
(山形県高島町)

東北・北海道の女性農業委員が一堂に会した研修会では、婚活事業の講演や事例発表のお話がありました。

また、2日目に研修した(有)地域環境デザイン研究所で、「地域の魅力づくりのコーディネート」をされている宮原博通さんは、建築家として都市開発の仕事などを行なっている方です。山形県高島町に住まいし、地域との関わりからの「農と食」についてお話を聞きました。元気なまちは元氣な人がつくるもの、その元にあるのは自然に育まれた食文化だと話していました。

私は、農業で豊富な食材を自給し、食卓を豊かにできることは幸せなことだと改めて感じました。

忙しさが先立ち、食の大切さが失われつつある今日。今後の委員活動にとっても参考になった研修でした。

(佐竹きみ子
委員)



農業委員の活動



▲女性農業委員が一堂に会した東北・北海道ブロック女性農業委員研修会(11/17)



▲法改正後初めての農業委員会大会
TPP など3つの決議が承認された(11/21)

みんなで、読もう！ 全国農業新聞 発行日 毎週金曜日 購読料 / 1ヶ月700円(送料込)

お申し込みは・お問い合わせは、栗原市農業委員会事務局まで 電話 42-1239

新たな農業委員会制度

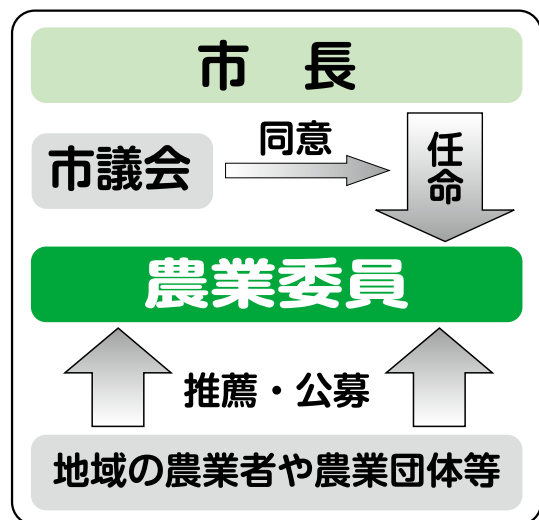
農業委員会等に関する法律が改正され、平成28年4月1日から施行されました。主な改正点は次のとおりです。

改正① 農業委員会の業務が、「農地等の利用の最適化の推進」として強化

従来の農地法に基づく権利移動等に関する許可業務に加え、農業委員会の重点業務として、農地利用の最適化の推進（担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進）が必須業務として位置づけられました。

改正② 農業委員の選出方法が、公選制から任命制に

- 選挙によらず、市長が議会の同意を得て、任命します（市長は、あらかじめ委員候補者について地域の農業者や農業団体等から推薦を求め、また公募を行います）。
 - 議会推薦・団体推薦による選任制は廃止します。
 - 農業委員の過半数は、原則として認定農業者です。
- ※栗原市では、経過措置により新たな選出方法による農業委員は平成29年7月24日以降となります。



改正③ 農地利用最適化推進委員が新設

- 農地利用最適化推進委員は農業委員と連携し、担当区域での農地利用の最適化のための実践活動を行ないます。
- 《主な役割》・担い手への農地集積・集約化
 ・遊休農地の発生防止・解消
 ・農業への新規参入の促進
- 農業委員会は、地域の農業者等に推薦を求め、同時に公募し、担当ごとに委嘱します。
 - 農地利用最適化推進委員は、農業委員と兼務することはできません。
- ※栗原市では、農地利用最適化推進委員は、平成29年7月24日以降に農業委員会から委嘱されます。



現在、新体制作りに向けて作業を進めております。農業委員候補者並びに農地利用最適化推進委員候補者の推薦・公募については、別途お知らせいたします。

農業者年金に加入しましょう！

農業者年金は農業者の方なら広く加入できる年金です。

詳しくは、農業委員会事務局へお問い合わせください。電話 42-1239

栗原市の農地の賃借料情報

平成27年12月から平成28年11月までの1年間に賃貸借権を設定した賃借料の水準（10アールあたり）は、下記のとおりです。

今後、農地を貸し借りする際の参考としてご利用ください。

田（水 稲）

地区名	平均値		最高値		最低値		筆数	
	金納	物納	金納	物納	金納	物納	金納	物納
築館	10,100円	62kg	16,000円	108kg	5,000円	19kg	103件	341件
若柳	14,300円	62kg	22,000円	120kg	7,000円	29kg	718件	118件
栗駒	9,800円	48kg	16,000円	120kg	3,000円	10kg	394件	595件
高清水	13,400円	74kg	18,000円	120kg	12,300円	35kg	5件	61件
一迫	11,200円	57kg	27,000円	111kg	1,000円	16kg	432件	307件
瀬峰	10,100円	58kg	16,200円	118kg	2,900円	19kg	288件	50件
鶯沢	9,600円	41kg	16,000円	60kg	2,600円	17kg	116件	128件
金成	9,000円	57kg	16,000円	90kg	2,000円	13kg	95件	647件
志波姫	11,400円	62kg	25,000円	120kg	5,000円	30kg	317件	151件
花山	5,300円	28kg	8,200円	30kg	2,900円	16kg	21件	8件
栗原市	11,500円	55kg	—	—	—	—	2,489件	2,406件

- ※ 特別な事情などで賃貸借されたデータは除いています。
- ※ データ数が少なく前年と大きく変動している地区があります。
- ※ 畑については、提供できる賃借料情報が少ないことから表記していません。

農地の生前一括贈与により納税の猶予を受けている方へ

3年に1回届出が必要になります

贈与税の納税猶予
築館税務署

不動産取得税の
徴収猶予
北部県税事務所

届出書が送付
(1月末頃)

猶予を受け
ている方
(3年に
1回が対象)

届出書を提出
(2月15日迄)

各総合支所
市民サービス課
産業建設係へ

担い手・認定農業者の方必見!!

農家のための情報誌

あなたも全国農業新聞の購読を

発行……毎週金曜日（月4回）
購読料……月700円
申込先……お近くの農業委員
または農業委員会事務局
電話……（42）1239

農業委員会事務局からのお願い!

冬季は、申請や届出、相談のお客様で窓口が大変込み合い、お待ちいただくこともあります。

お手数ですが、事前に農業委員会事務局または各総合支所市民サービス課までご連絡の上、ご来庁いただきますようご協力をお願いいたします。

みんなで、読もう! 全国農業新聞 発行日 毎週金曜日 購読料/1ヶ月700円(送料込)

お申し込みは・お問い合わせは、栗原市農業委員会事務局まで 電話 42-1239

農地中間管理事業 税制特集



◎機構集積協力金に対する課税について

「経営転換協力金」、「耕作者集積協力金」、「地域集積協力金」については、課税対象となりますので、事前に税務署に相談・確認するようお願いいたします。

「経営転換協力金」の場合

- ・土地利用型農業について自ら耕作することを止めることを交付の前提とするものであることから、土地利用型農業の自作廃止による収益補償又はこれに類するものとして、事業所得（農業所得）の収入金額となります。

「地域集積協力金」の場合

- ・地域に交付される地域集積協力金は、交付を受ける組織によって課税の扱いが異なります。

法 人…原則として法人税の課税対象となる
任意組織…組合員に対する所得税の課税対象となる

◎機構に貸し付けた農地の課税軽減

対象者は、所有する全農地（10 a 未満の自作地を残した全農地）を、平成28年度以降新たに中間管理機構に10年以上の期間で貸し付けた方です。

【固定資産税の課税軽減の内容】

新たに機構に貸し付けた農地に係る固定資産税を、下記の期間中1/2に軽減

- ①15年以上貸付の場合…5年間
- ②10年以上15年未満の場合…3年間

農業者年金

ご存知ですか？もうひとつのメリット

大きな節税効果

- ◆農家の皆さんにとっていろいろとメリットの多い農業者年金ですが、ここではあまり知られていない「節税効果」についてご紹介します。
- ◆農業者年金に加入すると、支払った保険料の全額が社会保険料控除の対象になります。試算例は下表のとおり。「公的年金」ならではの優遇措置で、民間の個人年金の控除額上限5万円に比べるとはるかに有利です。また加入者に配分される運用益も非課税です。
- ◆さらに将来受け取る農業者年金は「公的年金等控除」の対象となり、65歳以上の方であれば、公的年金等の合計額が120万円までは全額非課税となります。
- ◆いかがでしょうか。ぜひ農業者年金へのご加入を検討してみてください。

■保険料支払による節税効果の試算（所得税・住民税）

税率 (所得税+住民税10%)	所得の目安	保険料支払額別の節税額		
		月額2万円 (年額24万円)の場合	月額4万円 (年額48万円)の場合	月額6万7千円 (年額80万4千円)の場合
15%の場合	~195万円以下	36,000円	72,000円	120,600円
20%の場合	~330万円以下	48,000円	96,000円	160,800円
30%の場合	~695万円以下	72,000円	144,000円	241,200円

農業者年金に加入しましょう！

農業者年金は農業者の方なら広く加入できる年金です。

詳しくは、農業委員会事務局へお問い合わせください。 電話 42-1239

農業したいまち 栗原

日々、試行錯誤のイチゴ栽培

高清水7区の菅原勝嘉さん(58)は、両親、弟の4人家族で、水稲1ha、イチゴ20a、ネギ20a経営しており、現在イチゴ栽培に力を入れています。

菅原さんは、これまでまったく畑畑の仕事に勤務していましたが、「農業をしよう」と会社を退職。2年間宮城県農業大学校で野菜栽培の講義と実習の研修をし、「イチゴ栽培」に出

会い、5年前から取り組んでいます。ハウスに1万6千本栽培するイチゴの品種は「もういっこ」。大粒の果実とさわやかな甘さが特徴です。主にJAに出荷していますが、個人へも販売しています。

また、栗原市では菅原さんだけの、高設栽培方式で主にもみながらを培地として栽培する「るんるんベンチ」栽培を取り入れています。パイプハウスの構造上、温度管理が一番大変で、農業大学校で教わった先生に相談しながら、質の良いイチゴを目指し、毎年改善しながら試行錯誤しているそうです。

菅原さんは、これからのイチゴ栽培を順調に立ち上げ、もっと設備を整えていきたいと語っていました。

▲菅原さんのイチゴハウスはこれから最盛期を迎える。



農家レストラン み~つけた!!

◎ 古民家 岩松

☎0228-33-2323
〒989-5504 栗原市若柳上畑岡夷穴9

若柳畑岡地区に、岩松剛さん(69)・せつ子さん(68)夫妻が、古民家「岩松」をオープンしました。伊豆沼のほとり、明治36年に建てられた古民家で、代々続く農家です。4、5年前、伊豆沼にノルディックでお出でになる方から、休憩所として食事提供までの要望があり、オープンのきっかけとなりました。

日本全国や国外から、老若男女問わず古民家に興味を持って来てくれます。「人と人との繋がり、農家以外での視野が広がった。古民家に来て農家の暮らしを知って貰いたい」と剛さん。せつさんは、「伊豆沼がなかったら開業していなかった」と話していました。

お店のお勧めは、炊き立てご飯の定食とはっと汁。昔ながらの杵つき餅の体験もできます。

将来的には、先ず夫婦共に健康で、出来るだけ永く現状を維持していきたいと意気込みを語っていました。(取材:鈴木春江委員)



▲岩松さんご夫妻が、おもむきのある古民家で「おもてなし」

カフェ

【営業時間】 午前11時～午後3時
【定休日】 水曜日・年末年始
【メニュー】 コーヒー・ケーキなど…

食事

【営業時間】 予約制・前日まで予約
【メニュー】
○朝食(午前7時30分以降、11月～翌年3月)…1,000円～
○昼食・夕食…1,000円～
※昼食に限り、軽食(はっと汁等)を予約なしで承ります。

なお、「餅つき体験」や「古民家の見学」も承っています。(予約制)

編集後記

千支の十二支は、かつて中国で農業を行なう際、十二段階で表す意味を持つと言われる。今年も酉年、運気をとりに飛躍の年にしたいものだが、農業経営の改革が求められ現状を踏まえると厳しいことばかりである。さて、減反政策は今年限りで、30年以降は先行きの不透明だらけとは言うもの。栗原の基盤産業は農業であり消費者の声を生産者にフィードバックし、より安全、安心した独自の栗原ブランド米を目指し取り組みを願いたい。(曾根金雄委員)